

令和4年度沖縄県がん検診充実強化促進事業
市町村がん検診担当者等研修会
令和5年2月3日（月）

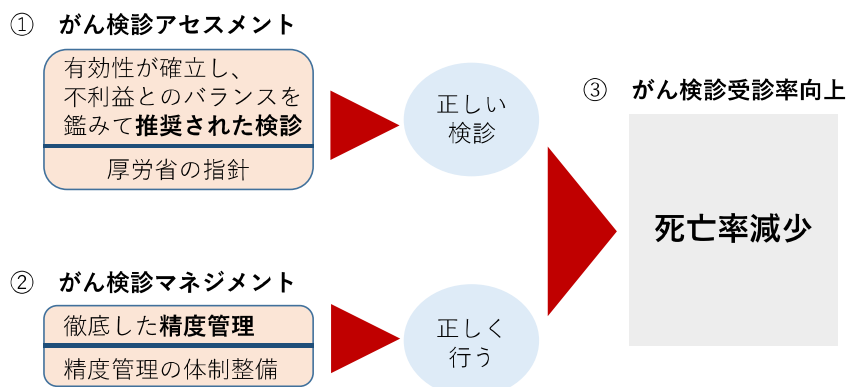
がん検診における精度管理の意義について

国立がん研究センター がん対策研究所
高橋宏和



国立がん研究センター がん対策研究所
National Cancer Center
Institute for Cancer Control

効果的ながん検診の3つのステップ

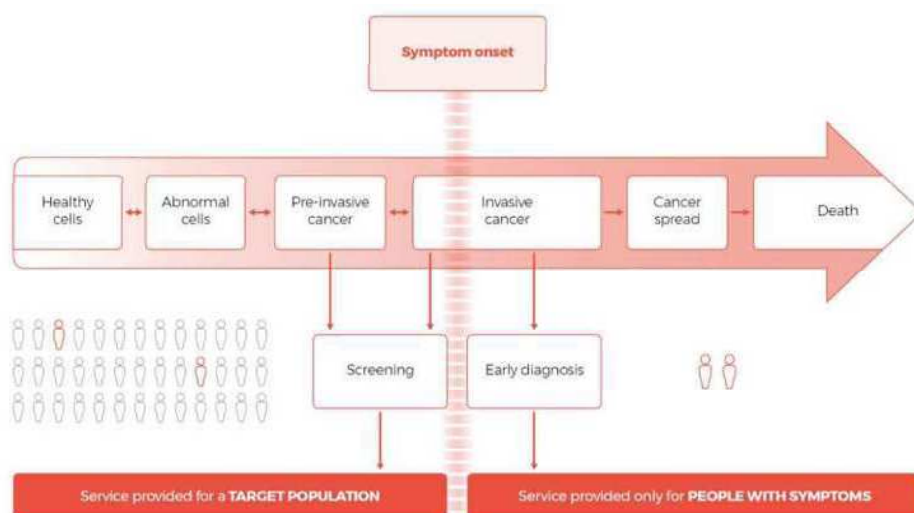


がん検診の目的

“がん検診は、一定の集団を対象として、
がんに罹患している疑いのある者や、
がんに罹患している者を早めに発見し、
必要かつ適切な診療につなげることにより、
がんの死亡者の減少を目指すものである“

出典：がん対策推進基本計画（第3期）

検診と早期診断は対象が異なる



- 検診（Screening）の対象は症状のない健常者
- 早期診断（Early diagnosis）の対象は症状のある者

出典：WHO Report on Cancer 2020

がん検診の利益・不利益

利益	不利益
<ul style="list-style-type: none"> がんの早期発見・早期治療による死亡率減少効果 がん検診で「異常なし」と判定された場合、安心を得られること 	<ul style="list-style-type: none"> がん検診でがんが100%見つかるわけではない（偽陰性） 結果的に不必要な治療や検査を招く可能性がある（偽陽性） 生命予後に影響しない、微小で進行の遅いがんを見つけてしまう（過剰診断） 検査に伴う偶発症が起こりうる <ul style="list-style-type: none"> ✓ 胃内視鏡検査による出血や穿孔 ✓ 胃エックス線検査における誤嚥や腸閉塞 ✓ マンモグラフィ・胸部エックス線検査・胃エックス線検査に伴う、放射線被曝 等

参照：第24回 がん検診のあり方に関する検討会（2018年5月）

5

がん検診の利益・不利益

	がんあり	がんなし
要精検	真陽性	偽陽性
精検不要	偽陰性	真陰性

がん検診の利益・不利益

	がんあり	がんなし	診断不明
要精検	真陽性	偽陽性	精検未受診
精検不要	偽陰性	真陰性	-
判定不明	治療の遅れ		?

7

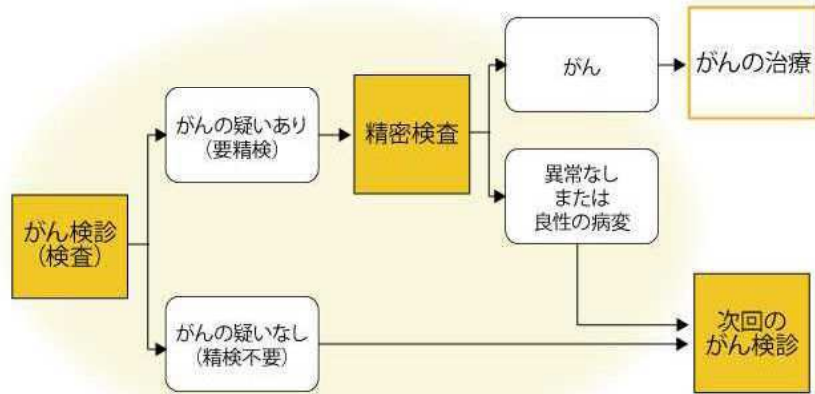
指針*で定めるがん検診の内容

*がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針

種類	検査項目	対象者	受診間隔
胃がん検診	問診に加え、胃部エックス線検査又は胃内視鏡検査のいずれか	50歳以上 ※当分の間、胃部エックス線検査については40歳以上に対し実施可	2年に1回 ※当分の間、胃部エックス線検査については年1回実施可
子宮頸がん検診	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診	20歳以上	2年に1回
肺がん検診	質問（問診）、胸部エックス線検査及び喀痰細胞診	40歳以上	年1回
乳がん検診	質問（問診）及び乳房エックス線検査（マンモグラフィ） ※視診、触診は推奨しない	40歳以上	2年に1回
大腸がん検診	問診及び便潜血検査	40歳以上	年1回

8

がん検診の流れ



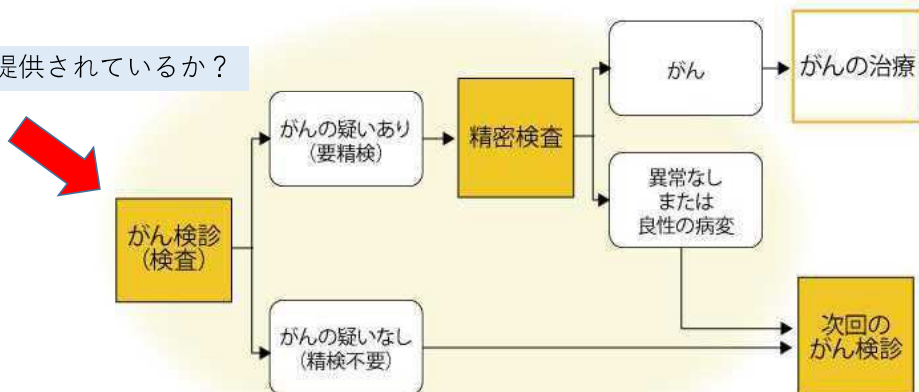
がん検診は一連のプロセスであり、一つの検査ではない

出典：  ganjoho.jp

9

がん検診の流れ

適切な検診が提供されているか？

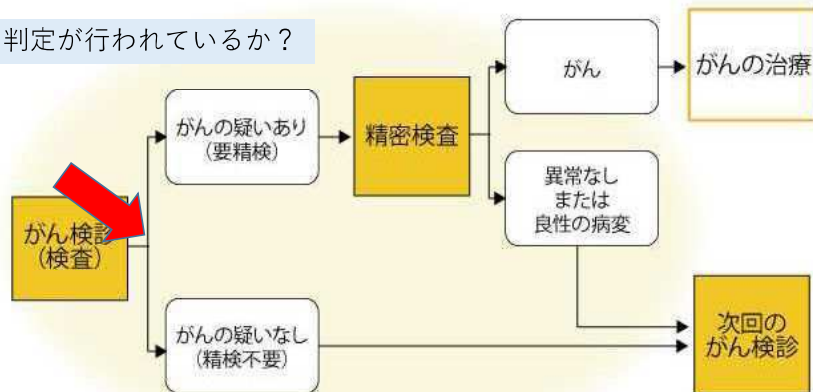


出典：  ganjoho.jp

10

がん検診の流れ

検診により適切な判定が行われているか？

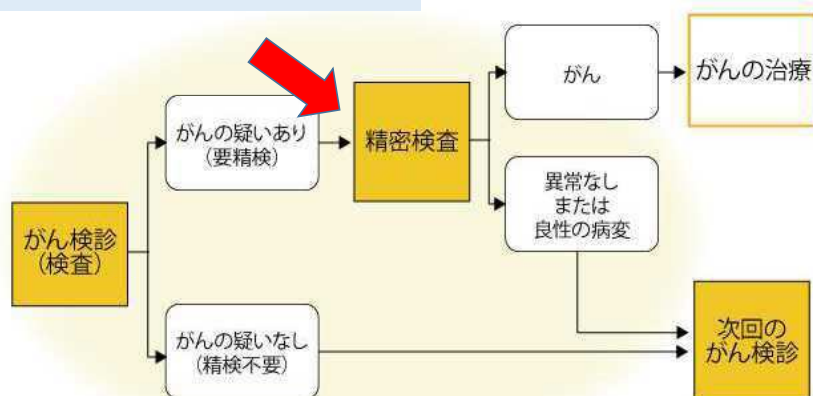


出典： ganjoho.jp

11

がん検診の流れ

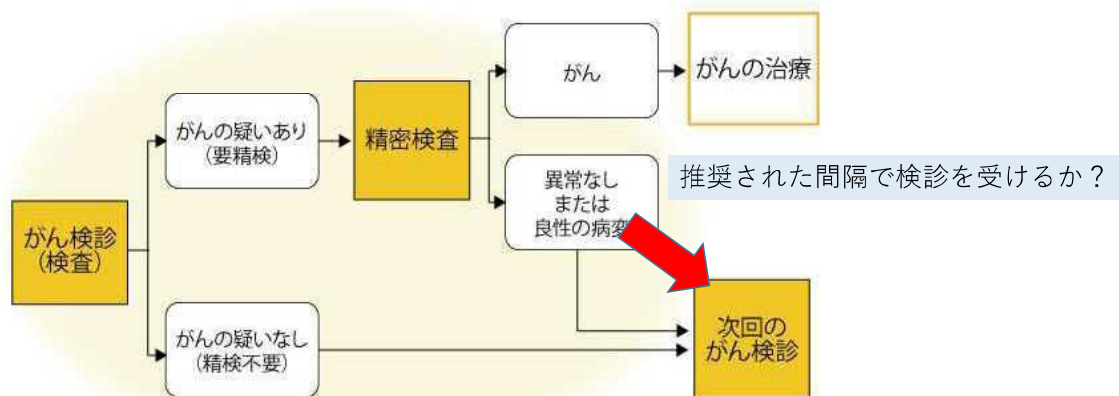
要精検者が精検を受けているか？



出典： ganjoho.jp

12

がん検診の流れ



出典： [がん情報サービス ganjoho.jp](http://ganjoho.jp)

13

精度管理にはシステムアプローチが必要

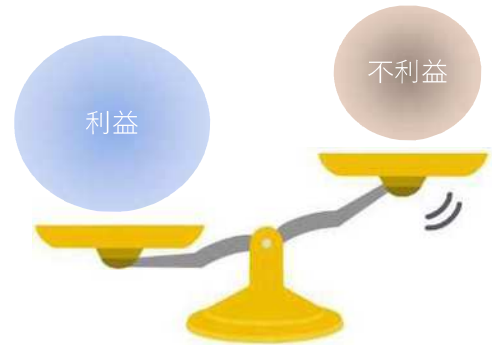
がん検診プログラムの全工程をもれなく整備し
利益を最大化する（不利益を最小化する）

- ・ 対象者の設定
- ・ 対象者の名簿管理
- ・ 検診実施機関への適切な委託
- ・ 受診勧奨
- ・ 検査結果の把握
- ・ 精検受診勧奨
- ・ 精検結果の把握
- ・ 検診データ報告
- ・ 検診実施機関へのフィードバック
- ・ 検診データの解析・評価
- ・ 改善への取組

14

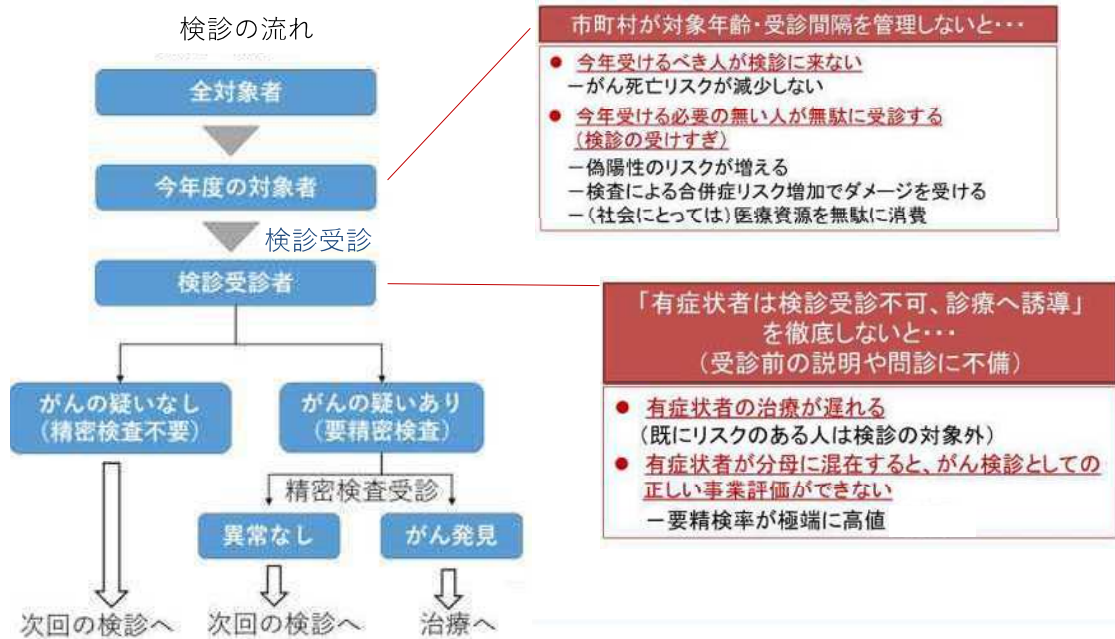
がん検診精度管理の目的

- 検診による利益の最大化
- 検診による不利益の最小化



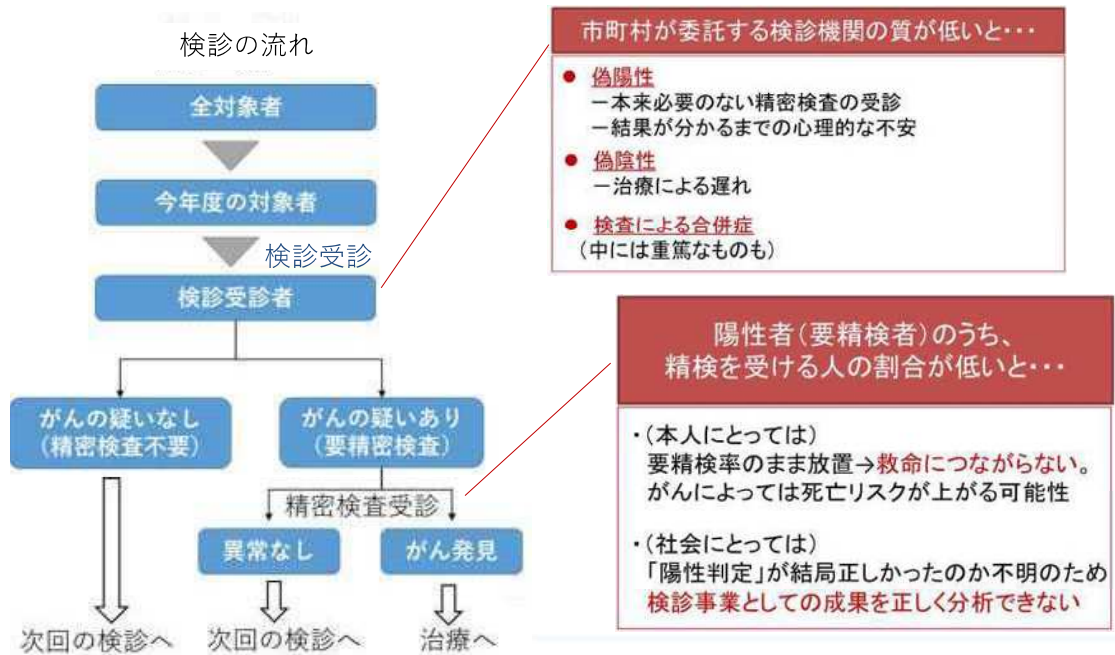
15

精度管理をしないことによる不利益 その1



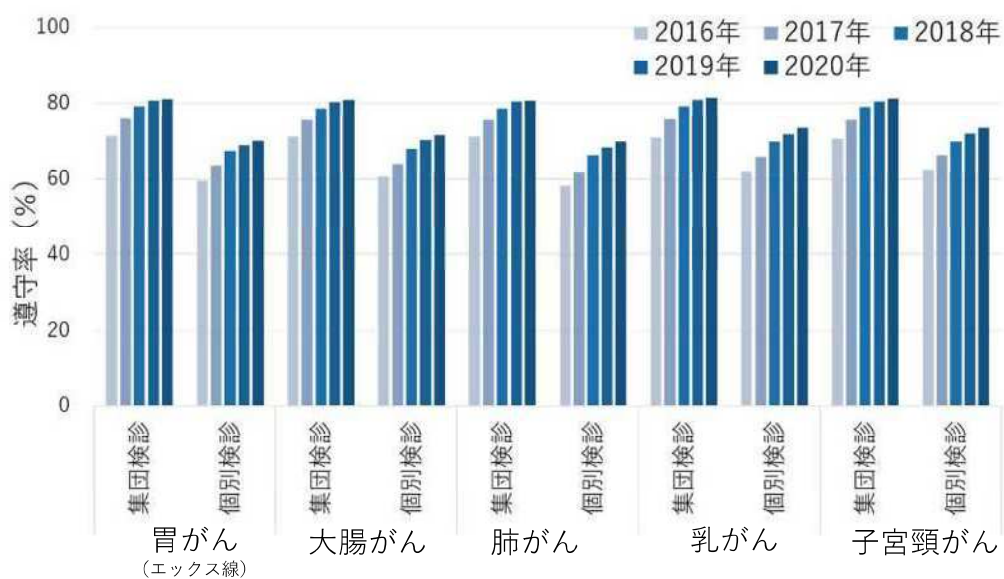
16

精度管理をしないことによる不利益 その2



17

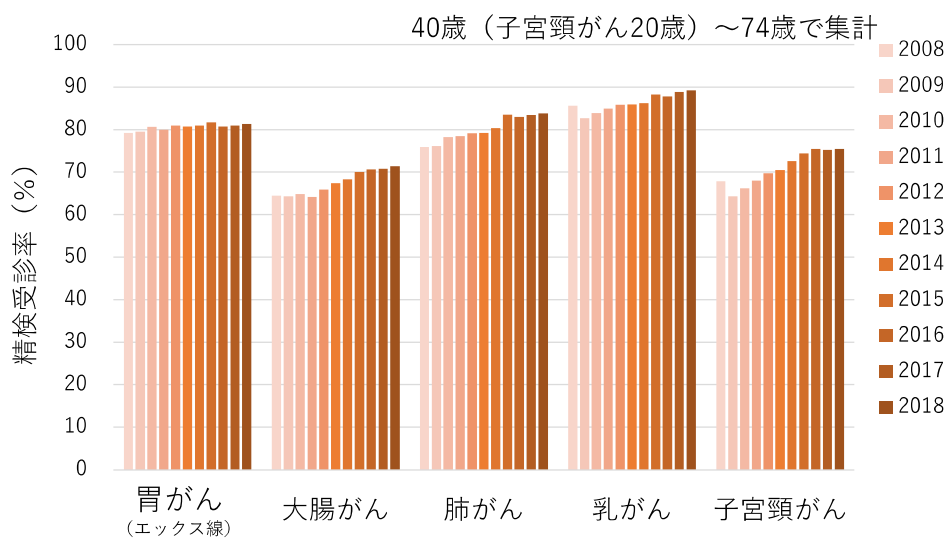
市区町村用チェックリストの遵守率 (全国値)



出典：がん情報サービス ganjoho.jp

18

精検受診率（全国値）



出典：[がん情報サービス ganjoho.jp](http://ganjoho.jp)

19

精検受診率が特に重要な理由

- ・ 要精検者が精密検査を受けないと、がん死亡を防げない
- ・ がん発見率や陽性反応適中度を正確に評価できない

20

精検受診率、未受診率、未把握率

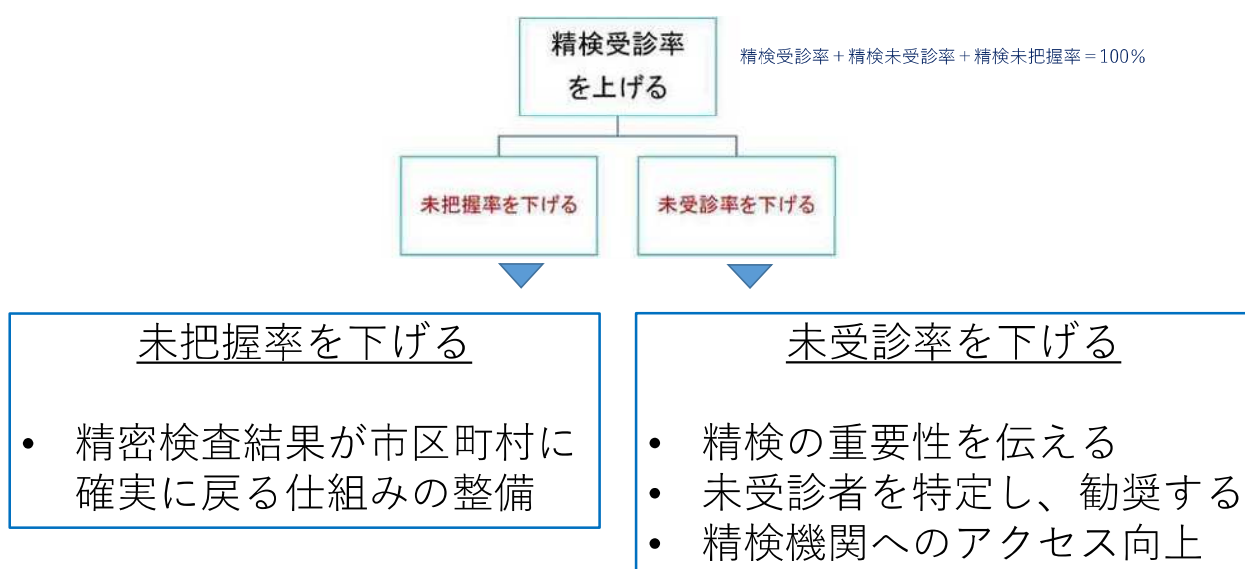
全国、40歳（子宮頸がん20歳）～74歳で集計

部位	精検受診率 (%)	精検未受診率 (%)	精検未把握率 (%)
胃がん	81.4	7.0	11.7
大腸がん	71.4	12.3	16.3
肺がん	83.8	5.6	10.6
乳がん	89.2	2.9	7.9
子宮頸がん	75.5	6.6	17.9

出典：[がん情報サービス ganjoho.jp](http://ganjoho.jp)

21

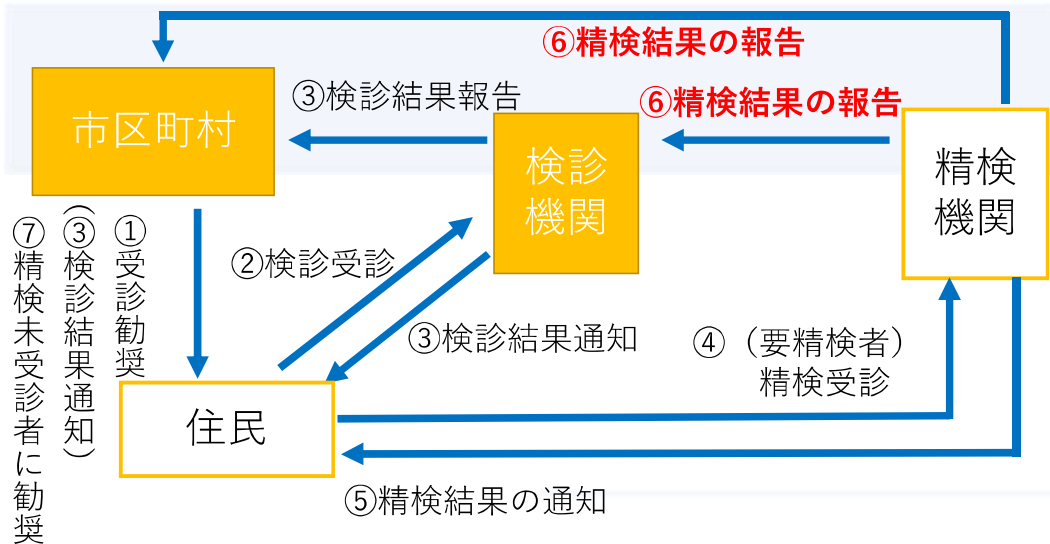
精検受診率向上対策



22

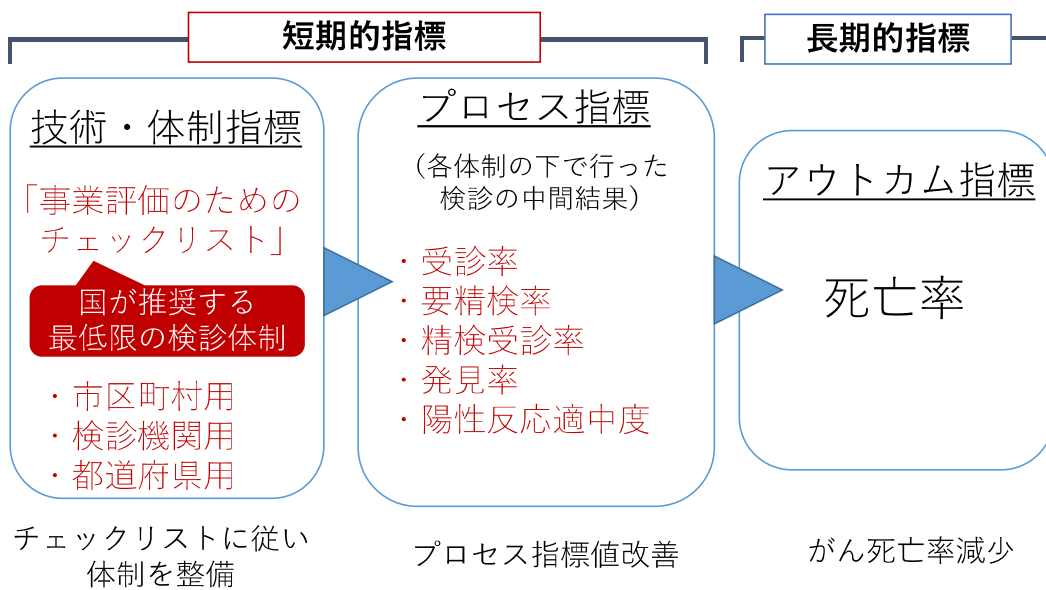
精検結果の報告（回収）経路

- ・精検結果の報告（回収）経路は地域により様々
- ・回収経路のボトルネックの改善



23

精度管理指標



24

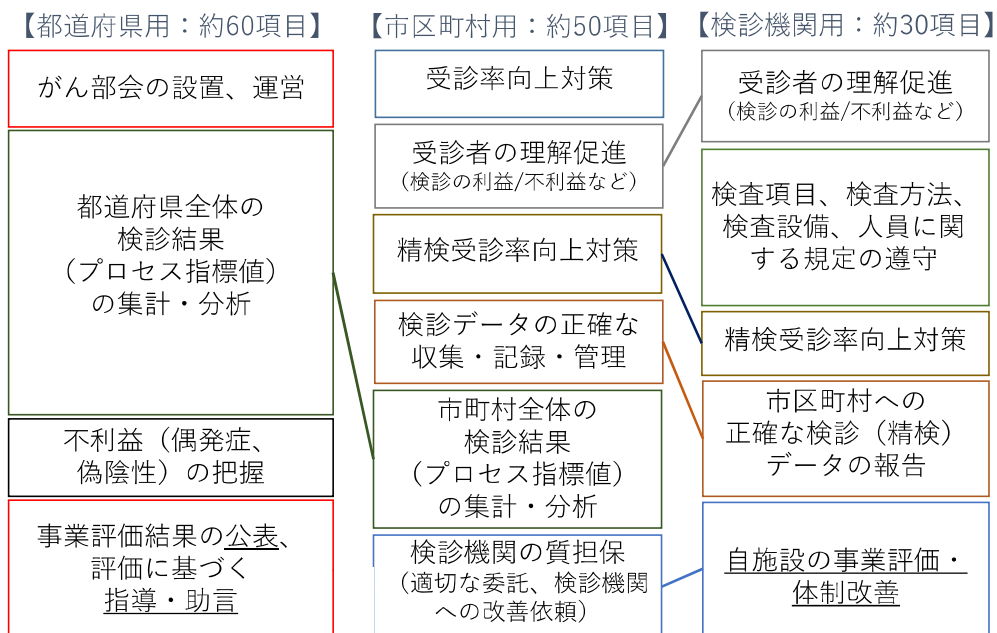
チェックリストとは

国が推奨する最低限の検診体制のリスト

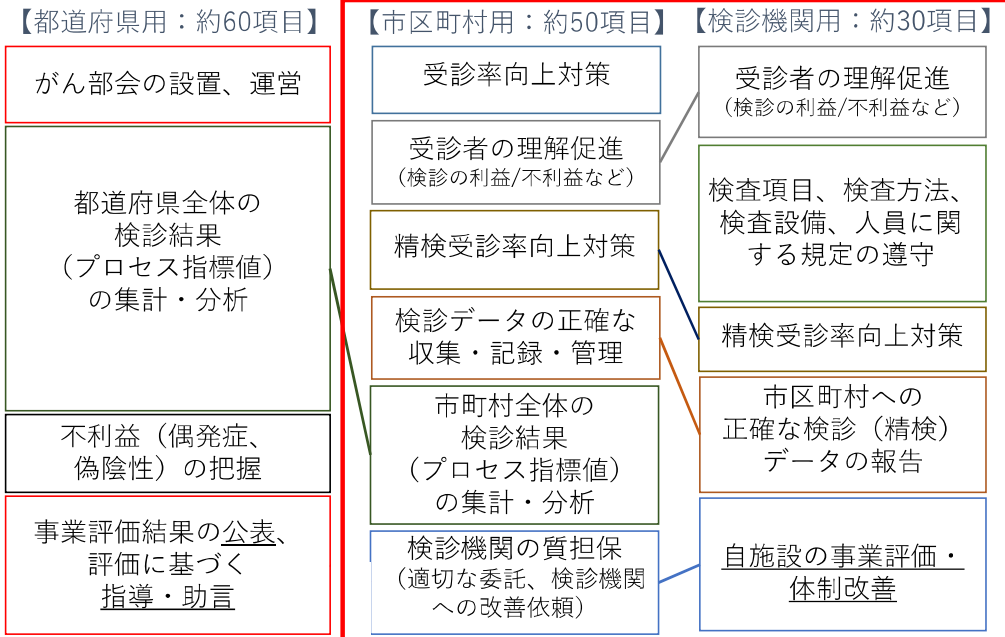
- ・ 県/市町村/検診機関は（地域医師会等と共に）
チェックリストに沿った体制整備が必要
- ・ 県単位でモニタリング・フィードバックを繰り返し、
実施率を上げていく
- ・ チェックリスト調査（モニタリング）を正しく行うために、
各項目の意味を正しく理解する必要がある

25

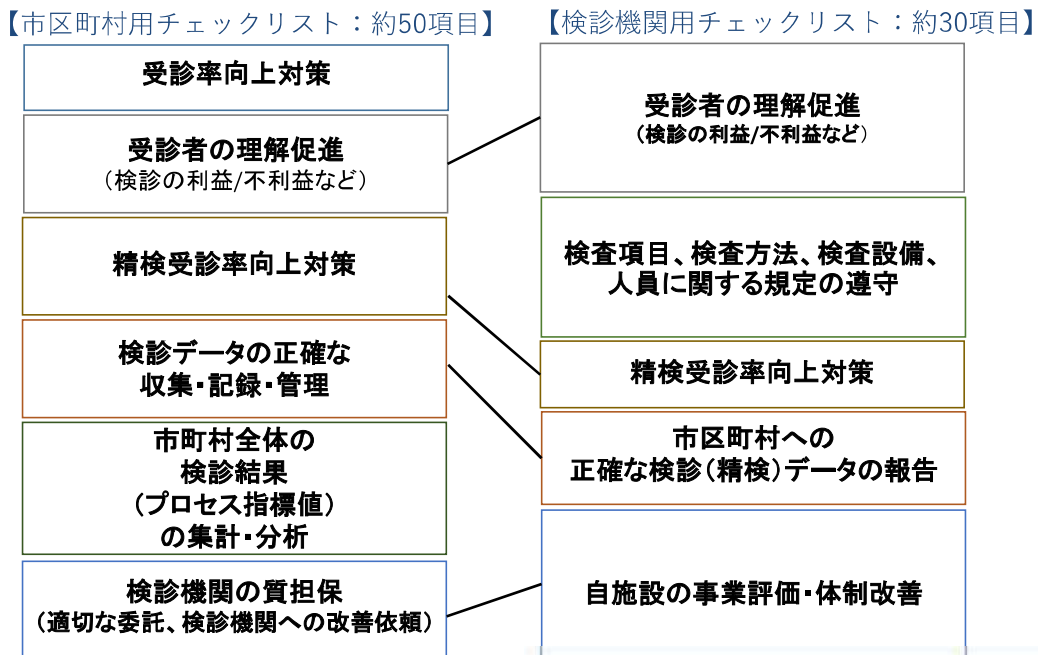
がん検診チェックリストの構成



がん検診チェックリストの構成



がん検診チェックリストの構成（市区町村用・検診機関用）

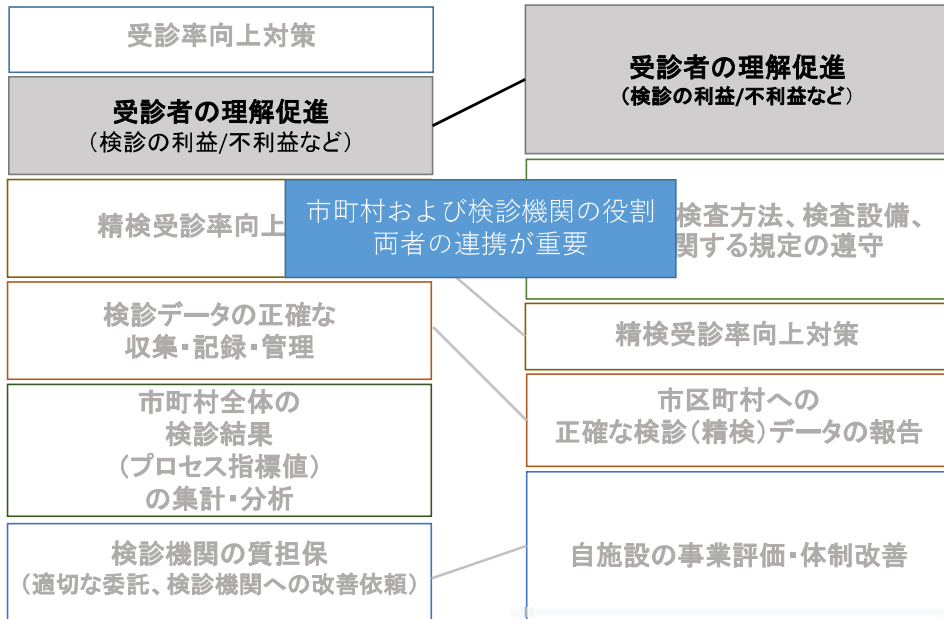


市区町村用/検診機関用はリンクする項目が多いため、横断的に読むと要点を理解しやすい

受診者の理解促進

【市区町村用チェックリスト：約50項目】

【検診機関用チェックリスト：約30項目】



対応する項目とその意味

受診者に以下の説明をしているか

× 口頭説明
○ 資料を個別配布

- ・ 当該がんの疫学情報
- ・ 検診の有効性と欠点（偽陰性、偽陽性）
- ・ 症状がある場合は医療機関を受診すること
- ・ 適切な受診間隔、継続受診の必要性

正しい情報に基づいた
より良い意思決定を支援

科学的根拠に基づく
がん検診の推進

- ・ 要精検となった場合は、必ず精密検査を受けること
- ・ 精密検査の方法
- ・ 精検結果は市町村へ報告されること、
また他の医療機関に精検を依頼した場合は
検診機関がその結果を共有すること

精検受診・精検結果把握
の重要性を周知

精検受診率向上

説明資料として利用可能なツール

国立がん研究センター・厚労省研究班作成



国立がん研究センター がん情報サービス
 一般向けサイト> 資料室> ちらし・リーフレット> 「がん検診」これから受ける検査のこと(2021)

31

説明資料を配布するタイミング

検診受診前

実施主体	市区町村が配布する場合	検診機関が配布する場合
適切な配布方法	受診勧奨時に送付	<ul style="list-style-type: none"> 来院時に受付で配布 受診時に医師から渡す
不適切な配布方法	(一人ひとりに届かないと×) ・不特定多数への広報 ・世帯宛に1通送付 (宛先に対象者全員の氏名なし)	(持ち帰れないものは×) ・問診票の裏面に記載 ・ポスター掲示 ・口頭説明

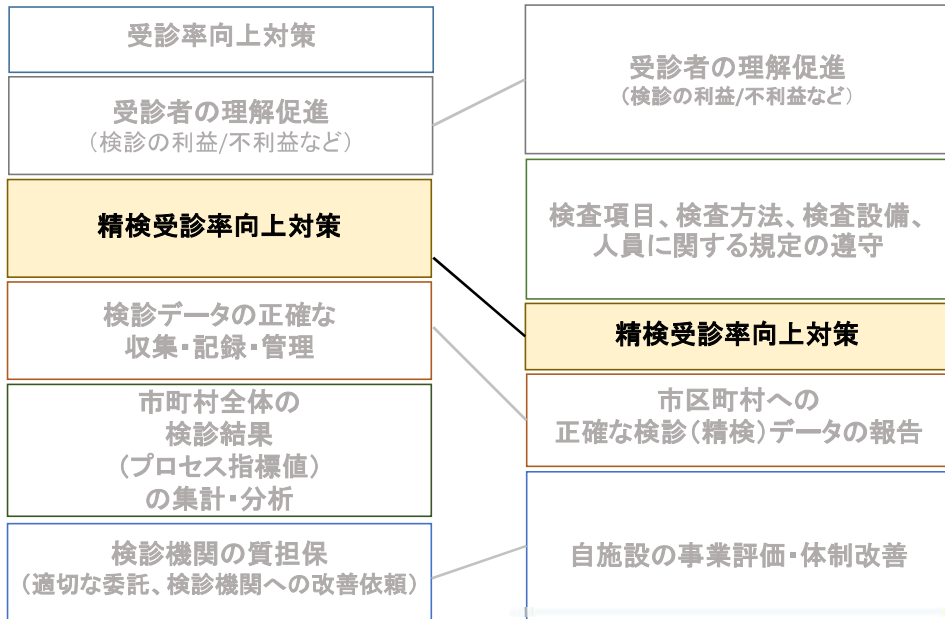
市町村と検診機関のどちらかが配布すればよいが、説明内容は予め共有しておく

32

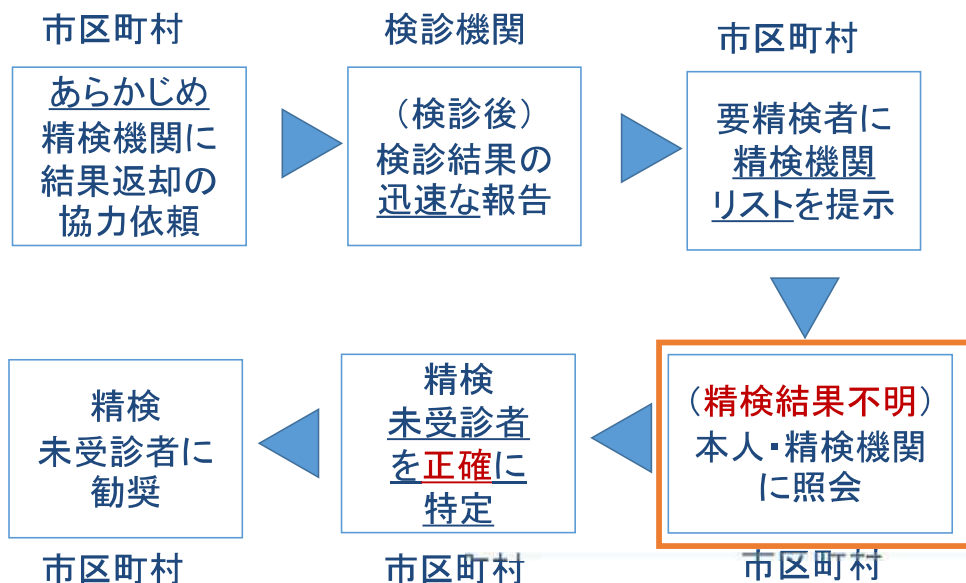
精検受診率向上対策

【市区町村用チェックリスト：約50項目】

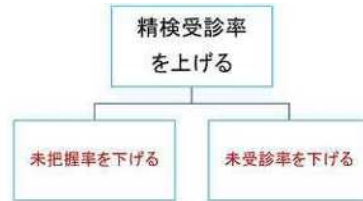
【検診機関用チェックリスト：約30項目】



この分野で求められていること



未把握率/未受診率を下げる対策

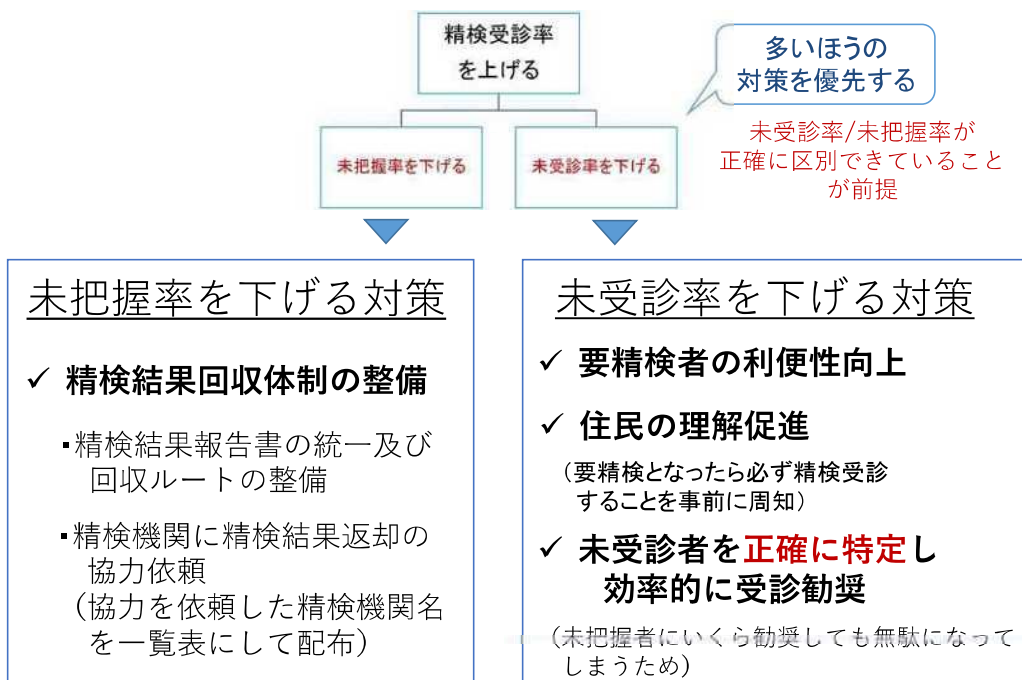


精検受診率を上げるためには、未把握率と未受診率を下げる

未把握率と未受診率を下げる対策は異なる

35

未把握率/未受診率を下げる対策



36

対応する項目とその意味

	項目	意味	
①	市町村/ 検診機関	要精検者は必ず精検を受けることを事前に説明しているか	未受診率↓
②	市町村	精検機関に、精検結果の報告を依頼しているか	未把握率↓ (結果回収率向上)
③	検診 機関	検診結果は4週間以内に報告しているか	・精検に 迅速 に誘導 ・受診者の 心理的負担軽減
④	市町村	要精検者に②の精検機関名一覧を配布しているか	未把握率↓ (結果回収率向上) 未受診率↓ (利便性向上)
⑤		精検結果が不明の場合は、本人か精検機関に照会しているか	未把握率↓
⑥		精検未受診と未把握を 定義に従って 区別しているか	未受診率↓ 確実に未受診の人を 効率良く勧奨する
⑦		精検未受診者に受診勧奨しているか	未把握者への勧奨は効率が悪い

37

沖縄県がん検診精密検査協力医療機関名簿の活用

The screenshot shows the official website of Okinawa Prefecture. The main content area is titled '沖縄県がん検診精密検査協力医療機関名簿 (名簿)'. Below the title, there are sections for 'がん検診精密検査協力医療機関について' and '医療機関名簿について'. The '医療機関名簿について' section includes a table of participating institutions. A red box highlights this table, and a blue arrow points to it from the right.

がん検診の種類	機関
胃がん	胃がん検診精密検査協力医療機関名簿 (PDF: 1102485)
大腸がん	大腸がん検診精密検査協力医療機関名簿 (PDF: 1006196)
肺がん	肺がん検診精密検査協力医療機関名簿 (PDF: 49106)
子宮頸がん	子宮頸がん検診精密検査協力医療機関名簿 (PDF: 48481)
乳がん	乳がん検診精密検査協力医療機関名簿 (PDF: 10453)

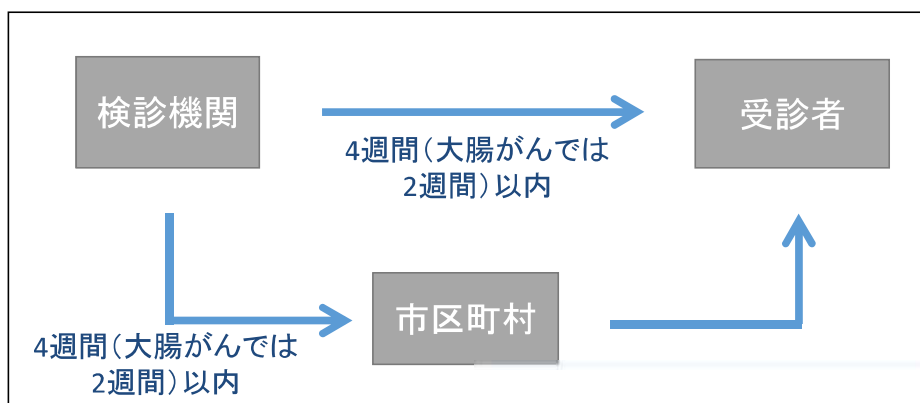
出典：沖縄県ホームページ <https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/kenkotoyoju/cancer/screening/meibo.html>

38

検診結果の報告期限

検診結果の通知・説明、**またはそのための市区町村への結果報告**は、遅くとも検診受診後4週間以内に行われているか

※大腸がん検診では検体回収後2週間以内



39

精密検査結果の報告について（個人情報）

住民検診の精検結果は、本人の同意がなくても市区町村や検診機関に提供可能

根拠：

個人情報保護法第23条

「個人情報取扱業者は、次に掲げる場合を除くほか、あらかじめ本人の同意を得ないで、個人データを第三者に提供してはならない」

例外事項：

「公衆衛生の向上又は児童の健全な教育の推進のために特に必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき」

具体例：

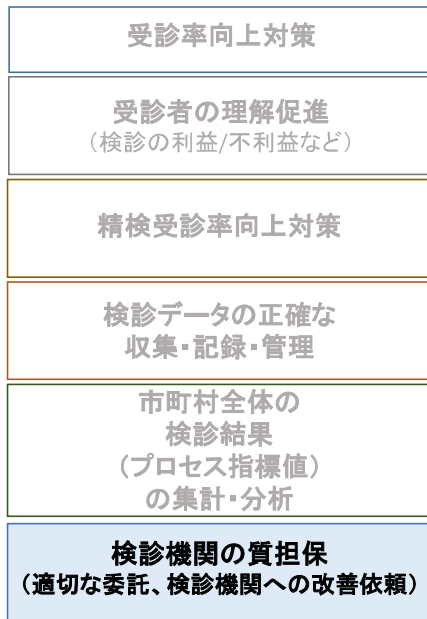
「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス（個人情報保護委員会・厚生労働省）」

「**がん検診の精度管理**のための地方公共団体又は地方公共団体から委託を受けた検診機関に対する**精密検査結果の情報提供**」

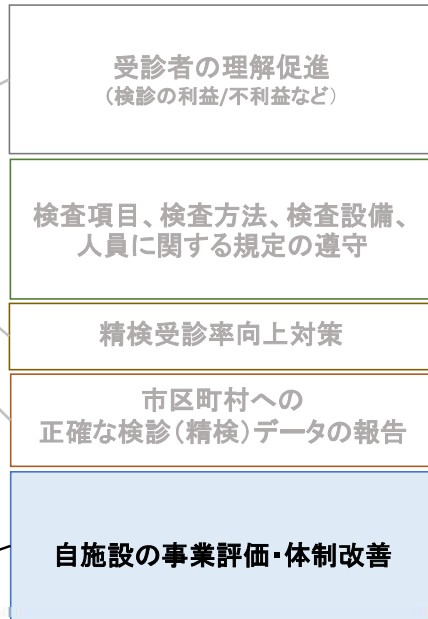
40

検診機関の質担保

【市区町村用チェックリスト：約50項目】

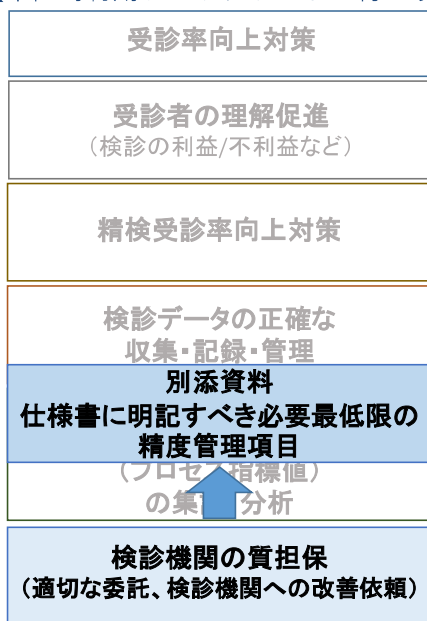


【検診機関用チェックリスト：約30項目】

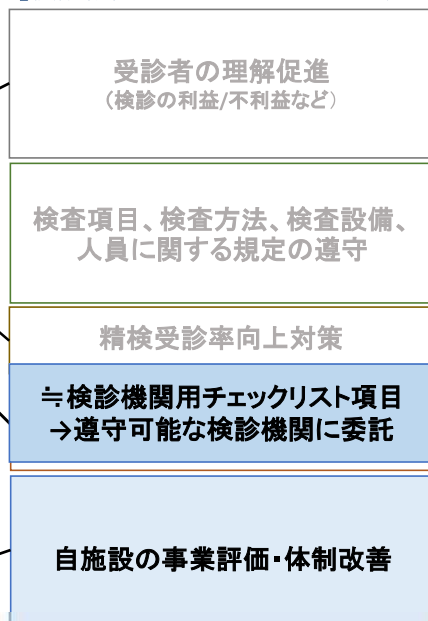


検診機関の質担保

【市区町村用チェックリスト：約50項目】



【検診機関用チェックリスト：約30項目】



対応する項目とその意味

		項目	意味
①	市町村	適切な仕様書により検診機関と委託契約しているか	全項目共通 「国の基準を満たした適切な検診を住民に提供すること」
②	市町村	検診終了後、仕様書の 遵守状況を確認 しているか	
③	市町村 検診機関	(市町村) プロセス指標とチェックリストの評価を検診機関にフィードバックしているか (検診機関) プロセス指標値を把握しているか	
④	市町村 検診機関	(市町村) 改善策をフィードバックしているか (検診機関) 自施設以外の専門家 を交えて撮影や読影向上のための委員会を設置しているか。もしくは外部の会に参加しているか。 (検診機関) 自治体や医師会等の助言を参考にして 精度管理の改善策を検討しているか	

43

改善すべき取組（案）

受診者への説明

- 市町村（または地区医師会）から提供されるリーフレットの配布
- 可能であれば、配布時に適切ながん検診の受診について説明（特に、がん検診の利益・不利益について）

精検受診率の向上

- 未受診・未把握率を下げる対策を

仕様書に明記すべき必要最低限度の精度管理項目に基づく仕様書作成

- 国の基準を満たした適切な検診を住民に提供

医療機関ごとに遵守率を向上させる取組を実施・評価

- 継続的に市区町村用・検診機関用チェックリストの実施・評価
- プロセス指標による評価

44

ご清聴ありがとうございました



国立がん研究センター がん対策研究所
National Cancer Center
Institute for Cancer Control